

時間分解吸収分光解析システム

製造元	浜松ホトニクス(株)
仕様	時間分解吸収分光解析システム
保有部署	分子工学専攻 関研究室
設置場所	桂地区 A クラスタ 2 棟 B1 階最先端機器室
利用期間・時間、 利用料金	本設備の共同利用規程を参照 https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/research/yui/naiki/sg65gg/
注意事項等	
連絡先	分子工学専攻関研究室 075-383-2572 http://www.moleng.kyoto-u.ac.jp/~moleng_06/
キーワード	過渡吸収、過渡発光、励起状態、スペクトル分析、ナノ秒レーザー
機器コード	0000115016
自由記入欄	極短時間領域における過渡種の吸収スペクトルを溶液・薄膜状態で時間分解測定できる装置です。シングルショットで多波長同時測定ができ、370～750 nm の波長領域を高精度に測定可能です。正確な測定のために数 mOD の過渡吸収信号が必要で、測定時間レンジはナノ秒からミリ秒まで対応しています。励起には Nd:YAG ナノ秒レーザーを用いており、355 nm での励起が可能です。

